

豊橋技術科学大学長 殿

平成 8 年 2 月 28 日

審査委員長 香藤 制海

論文審査及び最終試験の結果報告書

このことについて、下記の結果を得ましたので報告いたします。

記

学位申請者	大見 嘉弘	学籍番号	第 893407 号
申請学位	博士(工学)	専攻名	システム・情報工学専攻
論文題目	カード操作ツールの表現・利用の多様化に関する研究		
公開審査会の日	平成 8 年 2 月 28 日		
論文審査の期間	平成 8 年 1 月 24 日 ~ 平成 8 年 2 月 28 日	論文審査の結果	合格
最終試験の日	平成 8 年 2 月 28 日	最終試験の結果	合格

論文内容の要旨  
 カード操作ツールの表現力の向上とその効果的な利用法を築くため、同ツールの拡張と評価を行なった。その内容は以下の三つから構成される。(1) マルチメディア情報への対応。カード操作ツールでテキストだけでなく、画像、音声などの情報も扱えるようになれば、多様な思考や発想が促進できる。そこで、カード操作ツールのカードに画像や音声を付けることができるようにした。また、カードから任意のプログラムを起動できるようにした。(2) 協調作業支援の評価。分散環境でカード操作ツールを用い協調作業を行う場合、円滑なコミュニケーションを図るためにメディア情報のやりとりが重要となる。この際の問題点を調査するために、カード操作ツールを協調作業に利用した実験を分析した。(3) インターネット上の情報へのアクセス。カード操作ツールにインターネット上の情報にアクセスする機能を設け、容易に情報をカードと関連付けられるようにした。これによりカード操作ツールでインターネット上の情報を効率良く整理できるようになった。

審査結果の要旨  
 本論文は、机上で行なうカードを用いた情報操作を、計算機上で行なうツールについて、取り扱える情報の種類とその利用手法の多様化を検討し、実現したものである。まず、画像や音声などのマルチメディア情報について、従来にない高い操作性をもったツールを実現している。これは、カードのメタファーを用いるという新しい手法によるものである。次に、カード操作ツールを用いた協調作業実験を行ない、その分析結果をもとに、カードを一つのコミュニケーション手段とした場合の有効性と問題点を指摘している。これはカードに限らず、共通する計算機画面を見ながら行なう協調作業全般に適用できる新しい知見である。また、インターネット環境からの情報検索機能を加え、インターネット上に分散する情報を効率的に収集、整理する手法を提案し、その有効性を実証している。これは、カードのメタファーがハイパーテキスト構造のもつ本質的な問題点を和らげることを示した興味深い結果である。以上より、本論文は博士(工学)の学位論文に相当するものと判定する。

審査委員  
 香藤 制海 (印) 大石 元 (印) 磯田 定宏 (印)  
 増山 繁 (印) 五石 泰一 (印)

(注) 論文審査の結果及び最終試験の結果は「合格」又は「不合格」の評語で記入すること。